



インターナショナル新書

『プロが語る 胸アツ「神」漫画 1970-2020』

きたがわ翔（漫画家）

定価：902円（税込）

体裁：新書判／208ページ

発行：集英社インターナショナル

（発売：集英社）

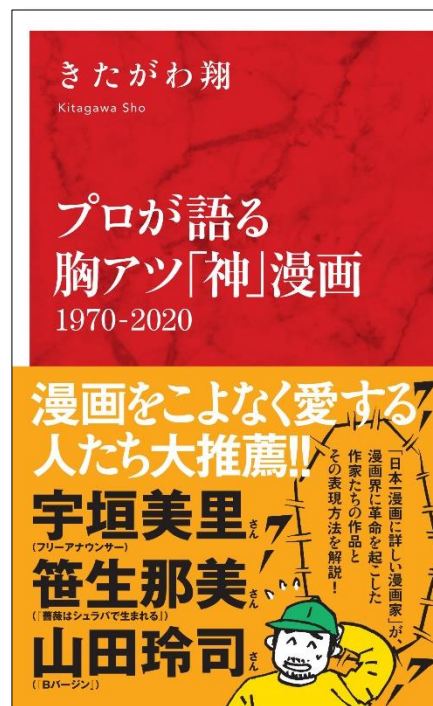
ISBN：978-4-7976-8082-9

10月7日（木）発売！

『ドカベン』から『鬼滅の刃』まで！

「日本一漫画に詳しい漫画家」との呼び声も高い著者が、漫画界に革命を起こした作家たちの作品とその表現方法を解説。

「あの名作漫画のルーツはどこにあるのか」「萩尾望都『半神』が“神作品”である理由」「『鬼滅の刃』大ヒットの秘密」など、漫画を知り尽くした著者が、1970年代から2020年にかけての作品を分析しながら、「漫画表現の歴史」を論じる。著者描き下ろしの漫画・イラストも掲載！



こんな思いが爆発しています！

きたがわ翔(きたがわ・しょう)

漫画家。1967年、静岡県生まれ。1981年、13歳のときに少女誌『別冊マーガレット』(集英社)に投稿した『番長くんはごきげんななめ』でデビュー。86年からは活動の場を『週刊ヤングジャンプ』(集英社)に移す。漫画の技法や歴史に詳しく、その豊富な知識をウェブやラジオ番組などで披露している。代表作に『19<NINETEEN>』『B.B.フィッシュ』『C』『ホットマン』(すべて集英社)などがある。



——目次より抜粋——

まえがきにかえて(描き下ろし漫画)

第一章:不朽の名作『ドカベン』と『スラムダンク』——水島新司から井上雄彦への系譜

第二章:少女漫画を変革した萩尾望都①——ルーツから初期作品まで

第三章:少女漫画を変革した萩尾望都②——『ポーの一族』『トーマの心臓』はどのようにして生まれたか

第四章:「鴨川つばめ」が残したもの——『マカロニほうれん荘』以前・以後

第五章:『鬼滅の刃』の少女漫画要素——他者の「痛み」に寄り添う

※ぜひ貴媒体にてご紹介をご検討いただけますと幸いです。下記までお問い合わせください。

【本書のお問い合わせ先】

集英社インターナショナル

電話 03-5211-2630 公式サイト <https://www.shueisha-int.co.jp>